

東京都知事

小池百合子様

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の
早期事業化について（要望）

平成30年1月26日

瑞穂町
瑞穂町議会

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸の早期事業化 について（要望）

大寒の節、貴職におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素、瑞穂町の行政運営につきまして、格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、瑞穂町では殿ヶ谷、箱根ヶ崎駅西の2地区の土地区画整理事業等による商工業・居住施設の誘導とともに、さやま花多来里の郷をはじめとした観光施策の充実により、定住及び交流人口の増加を図っており、今後は更に交通需要が増えるものと考えられます。

多摩都市モノレールは、平成28年度決算で乗車人員、運輸収入、営業収益のいずれも過去最高を更新し、特に一日平均乗車人員は開業以来初めて14万人を突破するなど、多摩地域の住民にとって欠くことのできない身近な交通手段となったことは、大変喜ばしい限りです。

新青梅街道拡幅再整備事業に伴い、沿道の都市計画の変更と地区計画の決定を行いました。多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面への延伸の早期実現につながるものと、町民は大きな期待を寄せています。

また、この延伸路線は、平成28年4月の交通政策審議会答申の中で、「地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクト」の一つに位置付けられました。答申内容に沿って、東京都、地元自治体及び事業者による協議が、現在進められています。さらに町では、答申を受け、平成29年4月に多摩都市モノレール基金を創設し、延伸に向けた準備を進めています。

多摩都市モノレールの延伸は、多摩地域の軌道系交通ネットワークが充実し、地域の交通利便性が格段に向上することにより人の交流や地域の発展に大きく寄与するとともに、環境負荷の低減に寄与するものと確信しております。早期事業化について、引き続き強力で推進されることを要望いたします。

平成30年1月26日

東京都西多摩郡瑞穂町

瑞穂町長 杉 浦 裕 之

瑞穂町議会

議 長 小 山 典 男

瑞穂町議会交通対策特別委員会

委 員 長 山 崎 栄